［ロガー］

コンフィギュレーションモードによる設定変更の方法

2014年9月5日　株式会社データ・テクノ
2009年2月13日　株式会社データ・テクノ
2009年1月26日　株式会社データ・テクノ

■■始めに■■

このマニュアルは、CFロガー、SDロガーの、機能設定を変更する方法について述べます。
CFロガー、SDロガーは、お客様において機能設定を変更していただくことが出来ます。
機能設定の変更は、ロガーをパソコンに接続し、パソコン側専用ソフトを実行して行ないます。
パソコンとの接続には、お客様で接続ケーブルをご用意ください。

●適応
このマニュアルに記載されている方法で、機能設定を変更していただけるのは、弊社が販売しているCFロガー、SDロガーの、つぎに掲げる機種、バージョン以降のものです。

機種	バージョン
DT-CF02-XS, DT-CF02-XC, DT-CFK2-XS, DT-CFK2-XC（CFロガー）	V040 以降
DT-MC02-XS, DT-MC02-XC, DT-MCK2-XS, DT-MCK2-XC（SDロガー）	V040 以降
DT-MC03-XS, DT-MC03-XC, DT-MCK3-XS, DT-MCK3-XC（SDロガー3）	全バージョン

●ご利用規定・免責

弊社が提供する設定変更用パソコン側専用ソフトは、弊社製品適合機種の機能設定を変更する目的でのみご使用いただけます。その他の目的には、ご使用にならないようにお願いいたします。

■■設定項目■■

このマニュアルに記載されている方法で、機能設定を変更していただけるのは、下記の項目です。
設定内容の詳細については、該当項目の説明文書をご参照ください。

項目	*選択肢*
機能	スクリプト版
	コマンド版
ファイルシステム	従来型 FAT16 ファイルシステム（FATSYS）
	FAT32 対応ファイルシステム（FatFs）
フロー制御	RTS によるフロー制御を行なわない（DISABLE）。
	RTS によるフロー制御を行なう（ENABLE）。

■■概要■■

機能設定を変更する手順は、概ねつぎのとおりです。

1．設定変更用パソコン側専用ソフトをご用意ください（弊社Webサイトからダウンロードしていただけます）。
2．ロガーと、パソコンのシリアルポートを、シリアル、クロスケーブルで接続してください。
3．ロガーのディップスイッチを設定し、コンフィギュレーションモードにしてください。
4．設定変更用専用ソフトを起動し、実行してください。

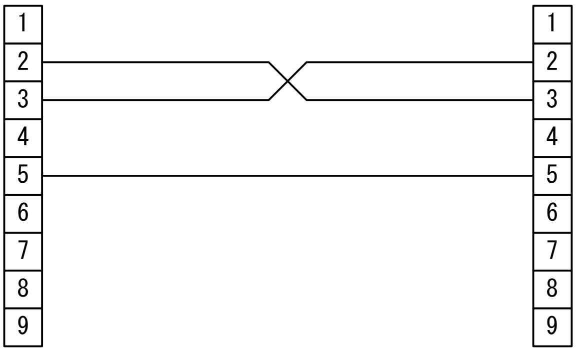
■■パソコン側専用ソフト■■

つぎに示すパソコン側専用ソフトを、ご使用ください。
インストール作業は特に必要ありません、ダウンロードした「DTCFConfiguration.exe」を適切なフォルダに置き、実行してください。

ロガー機能設定変更専用ソフト	DTCFConfiguration.exe

■■接続■■

ロガーのD－Sub9ピンコネクタと、パソコンのシリアルポートコネクターを、クロスケーブルで接続してください。
おそらくは市販されている一般的なクロスケーブルが、使用可能だと思われます。
つぎに必要な配線を示します。



■■ディップスイッチ設定■■

ロガーのディップスイッチを設定し、ロガーをコンフィギュレーションモードにしてください。
またロガーには、カードを装着していない状態にしてください。カードが装着されているとコンフィギュレーションモードになりません。
9600bps、8bit、パリティなし、1ストップビットで、設定変更を行なうには、つぎのように設定してください。

【スクリプト版、ノーマル版でお使いの場合】

ディップスイッチ							
1	2	3	4	5	6	7	8
OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF

【コマンド版でお使いの場合】

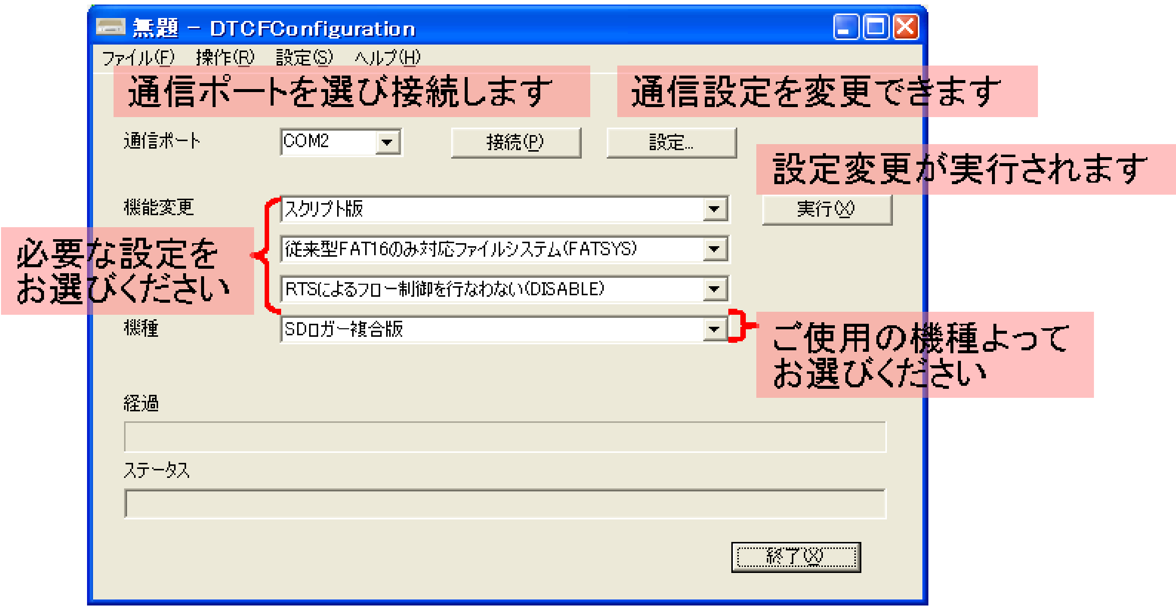
ディップスイッチ							
1	2	3	4	5	6	7	8
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF

その他の設定は、取扱説明書を参照して設定してください。

「スクリプト版、ノーマル版」←→「コマンド版」を切り換えた場合は、ディップスイッチ設定の変更も必要になります。

■■設定変更■■

パソコンとの接続、ディップスイッチの設定ができたら、ロガーからカードを抜いて電源を入れてください。
ロガーはこのときコンフィギュレーションモードになり、LEDは早い点滅、又は黄色LEDが点滅になります。
ロガー機能設定変更専用ソフト（DTCFConfiguration.exe）を起動し、つぎの手順で設定変更を行なってください。



①通信ポートの設定

[設定...]ボタンを押して、または[設定(S)]−[通信ポート(P)...]メニューからつぎのダイアログを出して、通信ポートに関する設定を行なって下さい。
通信ポートが接続されていると、通信ポートの設定は変更できません。
ここで、一度行なった設定は、プログラムを終了しても記憶されています。



②通信ポートの接続

[接続(P)]ボタン、または[操作(R)]−[通信ポート(P) ＞]−[接続(O)]メニューを押して、通信ポートを接続してください。
通信ポートは、プログラム起動時、接続が試みられます。有効な設定がされている場合は、プログラム起動と同時に通信ポーは接続されています。

③設定選択

必要な設定項目を選択してください。

④実行

[実行(E)]ボタン、または[操作(R)]−[実行(X) ＞]−[開始(S)]メニューを押して実効してください。
設定変更が開始され、経過欄に進捗が表示されます。
ステータス欄に「正常終了」が表示されれば終了です。
エラーが発生した場合は、ステータス欄に表示されます。

⑤終了

ロガーの電源を切り、専用ソフトを終了させ、ケーブルを外してください。
ロガーのディップスイッチを、通常の状態に戻すのを忘れないでください。
行なった設定は、つぎにロガーの電源を入れたときに有効になります。

■■そのほか■■

ロガー機能設定変更専用ソフト（DTCFConfiguration.exe）は、レジストリに、「DATATECNO¥DTCFConfiguration」というエントリーを作成し設定を保存します。
ロガー機能設定変更専用ソフト（DTCFConfiguration.exe）は、Windows 7での動作確認を行なっています。

株式会社データ・テクノ
京都市下京区西七条東御前田町48番地
〒600-8898 TEL:(075)313-3275 FAX:(075)314-0576
http://www.datatecno.co.jp/
・本取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。